

4. 用途別基本方針

I 公共施設

階層分類施設の検討指針

基本方針において、本市の公共施設をその利用圏域によって、全市レベル（主として市域全体の住民の利用を想定した施設）、地域レベル（主として市内特定の地域住民を対象とした施設）の2階層に分類し、施設の機能別に整理しました。

A群	施設の機能維持を前提とし、必要なスペースを確保する。 また、余剰スペースの活用による他施設との複合化・多機能化や減築等による規模の縮小化を図る。
B群	施設機能の必要性を検討することを前提とし、その機能の維持が必要と判断したものについては、A群施設への複合化・多機能化、もしくはB群施設同士の複合化・多機能化を図る。

◆A群：施設機能を維持する施設

（全市施設）

- ・庁舎・事務所の行政事務スペース、消防署・出張所等の消防関係の施設、墓地等、火葬場といったその他の施設による代替が不可能な施設を「施設機能を維持する施設」とします。
- ・泉大津市立駐車場については、複合化・多機能化が困難であるため、「施設機能を維持する施設」とします。

（地域施設）

- ・小学校、中学校の義務教育施設は、本市の将来を担う子どもたちの教育機関であるとともに、地域の防災的観点からも重要な施設であるため「施設機能を維持する施設」とします。
- ・一方で、小学校、中学校の義務教育施設は、将来的に少子化が進むことも予測されることから、将来的には余剰スペースの活用による他施設との複合化・多機能化を図り、地域の拠点施設として再生することを検討します。

◆B群：施設機能の必要性を検討し、複合化・多機能化を検討する施設

（全市施設）

- ・教育支援センター、公民館、生涯学習施設、スポーツ・レクリエーション施設、児童福祉施設、高齢福祉施設、保健施設、市営住宅、その他

（地域施設）

- ・幼稚園、児童福祉施設、高齢福祉施設、公園施設、公衆便所、その他

階層分類施設の検討指針

検討指針	利用圏域	
	全市施設	地域施設
A群	<ul style="list-style-type: none"> ●庁舎・事務所 ●消防署・出張所 ●駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> ●墓地等 ●火葬場 ●小学校 ●中学校
B群	<ul style="list-style-type: none"> ●教育支援センター ●公民館 ●生涯学習施設 ●スポーツ・レクリエーション施設 ●児童福祉施設 ●高齢福祉施設 ●保健施設 ●市営住宅 ●その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園 ●児童福祉施設 ●高齢福祉施設 ●公園施設 ●公衆便所 ●その他

4. 用途別基本方針

4-1. 学校教育施設

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	構成施設	分類階層		検討指針
				市域	地域	
教育支援センター	学校及び家庭における教育への適切な支援を実施するための施設	1	教育支援センター	●		B群
幼稚園	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして幼児を教育・保育し、幼児の健全な健康のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とした施設	8	戎幼稚園、旭幼稚園、穴師幼稚園、上條幼稚園、浜幼稚園、条東幼稚園、条南幼稚園、楠幼稚園		●	B群
小学校	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とした施設	8	旭小学校、穴師小学校、上條小学校、浜小学校、条東小学校、条南小学校、楠小学校、戎小学校		●	A群
中学校	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とした施設	3	東陽中学校、誠風中学校、小津中学校		●	A群

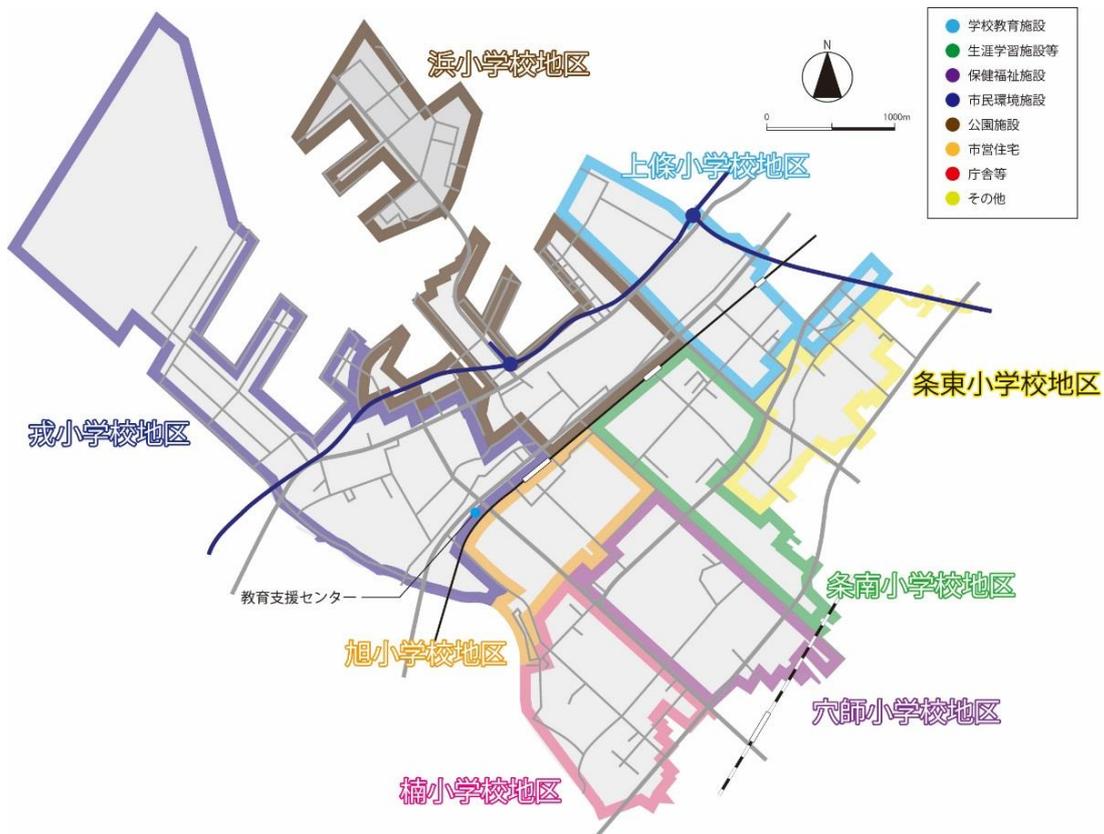
② 現状の課題

- ・ 教育支援センターは、学校や家庭における教育への適切な支援を行う施設として重要な機能を有していますが、各種研修室等の1回当たり平均利用人数は少なく、施設の老朽化が進行している状況であるため、機能移転とあわせた施設の存廃を検討する必要があります。
- ・ 幼稚園については、一部の幼稚園を除き、施設・設備の老朽化が深刻な状況です。また、保育所との再編による認定こども園の施設整備を検討する必要があります。
- ・ 一部の小学校を除き、施設・設備の老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが必要です。
- ・ 中学校は施設・設備の老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが必要です。

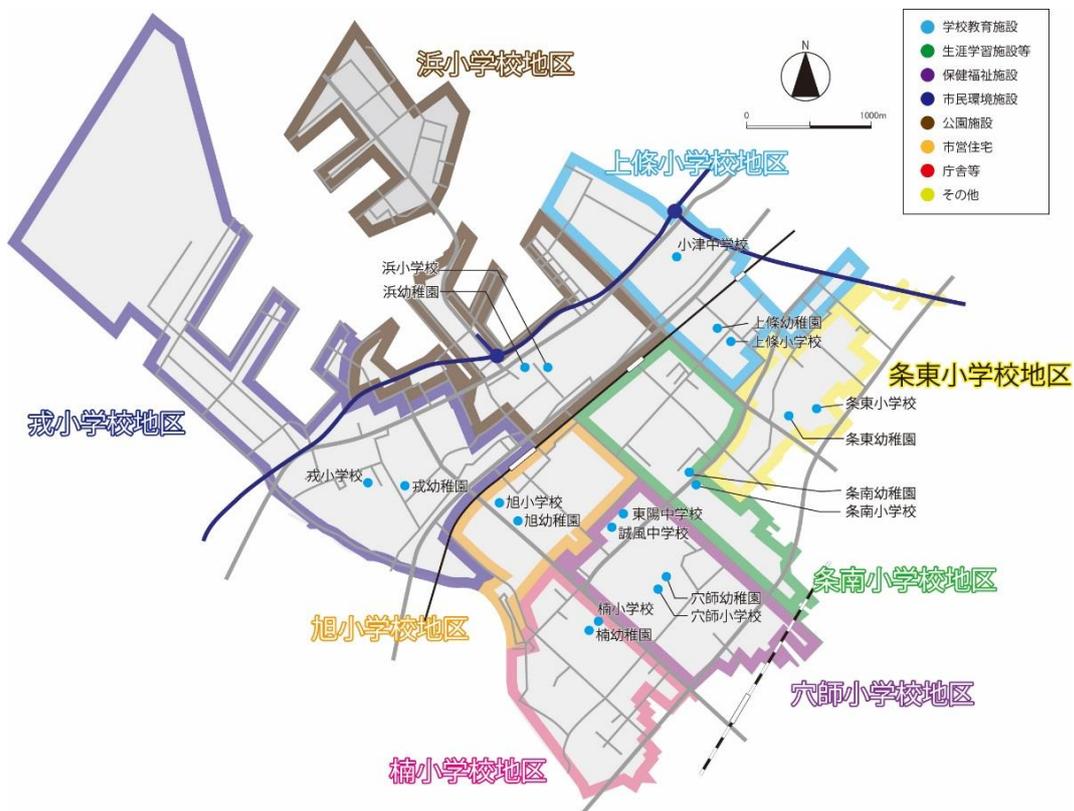
(2) 今後の方針

取組の方向
<p>【教育支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1回当たり平均利用人数が少なく、老朽化が進行している状況であるため、稼働率やスペースを勘案し、他施設への複合化・多機能化を検討します。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 保育所、幼稚園の一体化による認定こども園の推進に合わせて、施設の整理、複合化・多機能化を検討します。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長寿命化を図り適切な維持管理を行います。また、大規模改修や長寿命化対策、建替時期に合わせた地域への開放、施設の複合化等を検討します。 ■ 児童数の動向を見ながら、余裕教室、空きスペースを活用し、地域コミュニティ等の拠点として、他施設との複合化等施設の有効活用を検討します。 ■ 小学校プールについては、当面、補修により運用を行います。今後、市民プールと学校プールの集約化や民間施設の活用について、改修費用や維持管理経費、また運用形態などの財政面、運用面等の諸条件を勘案し検討を進めます。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長寿命化を図り適切な維持管理を行います。また、大規模改修や長寿命化対策、建替時期に合わせた地域への開放、施設の複合化等を検討します。

■生徒数の動向を見ながら、余裕教室、空きスペースを活用し、地域コミュニティ等の拠点として、他施設との複合化等施設の有効活用を検討します。



学校教育施設（全市施設）配置図



学校教育施設（地域施設）配置図

4. 用途別基本方針

4-2. 生涯学習施設

(1) 現状

① 施設概要

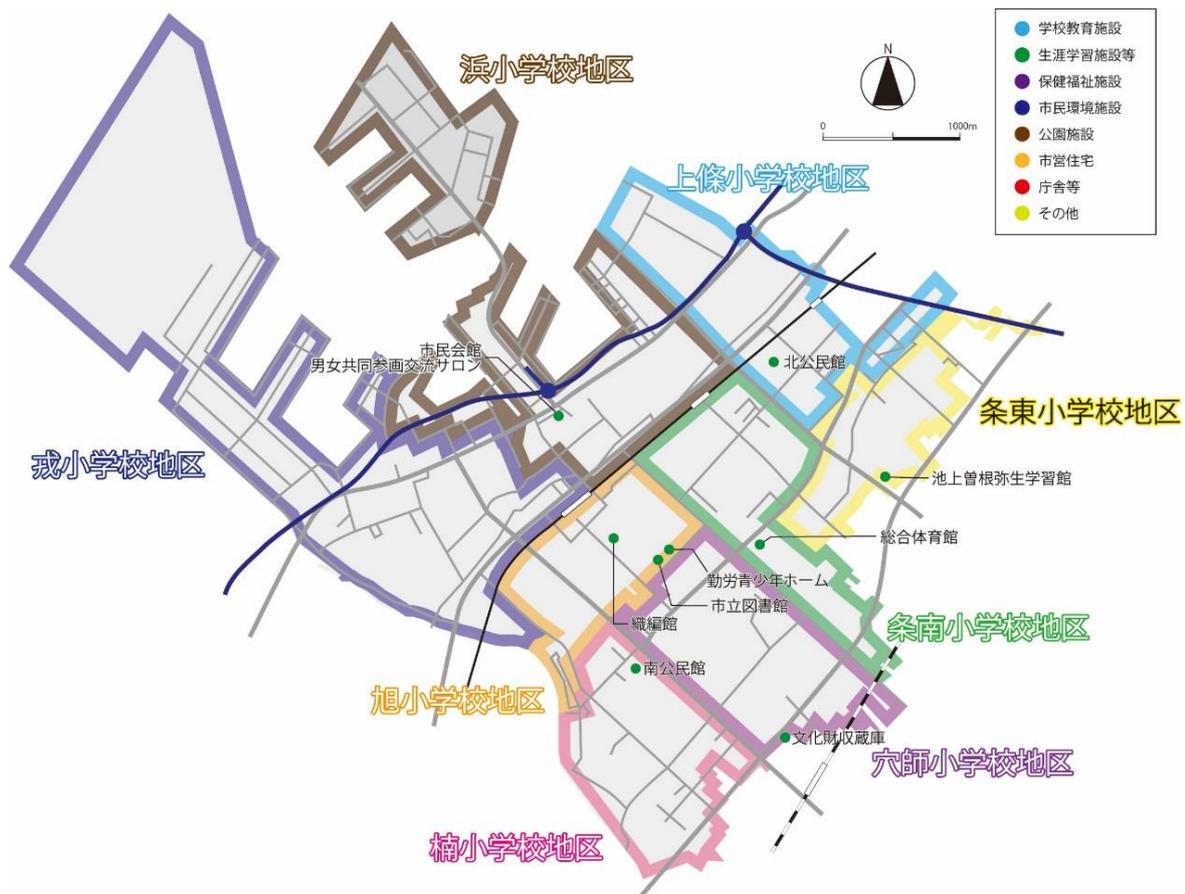
分類	位置付等	施設数	構成施設	利用圏域		検討指針
				市域	地域	
公民館	生活文化の振興・社会福祉の増進を目的とした施設	2	南公民館、北公民館	●		B群
生涯学習施設	市民が生涯にわたり自己の充実・啓発や生活の向上に取り組むための施設	7	市民会館、男女共同参画交流サロン、図書館、勤労青少年ホーム、文化財収蔵庫、池上曾根弥生学習館、織編館	●		B群
スポーツ・レクリエーション施設	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図るとともに市民生活の向上に資する施設	1	総合体育館	●		B群

② 現状の課題

- ・一部の生涯学習施設については、稼働率が低い諸室もみられるため、他施設の稼働率やスペースを勘案して施設の集約や機能統合を検討する必要があります。
- ・公民館については、施設の老朽化により、施設の延命化・長寿命化が必要です。一方、稼働率が低い諸室も一部みられるため、他施設の稼働率やスペースを勘案して諸室の集約や機能統合を検討する必要があります。
- ・勤労青少年ホームは、青少年の利用が減少し当初の目的とかい離しており、施設のあり方について検討が必要です。

(2) 今後の方針

取組の方向
<p>【公民館】</p> <p>■稼働率やスペースを勘案し、諸室の集約や運営方法の効率化、他施設との複合化・多機能化を検討します。</p> <p>【生涯学習施設】</p> <p>■稼働率やスペース、市民ニーズを勘案し、諸室の集約や運営方法の効率化、他施設との複合化・多機能化を検討します。</p> <p>■周辺他都市の施設も含めて広域的な相互利用を検討します。</p> <p>■受益者負担の考え方にに基づき、利用料金の見直しを検討します。</p> <p>●勤労青少年ホームは建設当初の目的からかい離した利用状況となっており、今後のあり方について検討します。</p> <p>【スポーツ・レクリエーション施設】</p> <p>●長寿命化を図るとともに適切な維持管理を行います。</p>



生涯学習施設等（全市施設）配置図

4-3. 保健福祉施設

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	主な構成施設	利用圏域		検討指針
				市域	地域	
児童福祉施設	乳幼児の子育て支援に資するための施設	1	子育て支援ルーム	●		B群
	乳幼児の保育に資するための施設	7	宇多保育所、上条保育所、浜保育所、戎保育所、条東保育所、要保育所、くすのき保育所		●	B群
高齢福祉施設	市民福祉の向上や介護知識等の普及を目的とした施設	2	総合福祉センター、高齢者保健・福祉支援センター(ベルセンター)	●		B群
	高齢福祉施設の内、老人集会所としての利用を目的とした施設	13	穴師長寿園、浜長寿園、条東長寿園、戎長寿園、板原長寿園、助松長寿園、松之浜長寿園、東港長寿園、宇多長寿園、旭長寿園、条南長寿園、東助松長寿園、北豊中長寿園		●	B群
保健施設	市民に対し健康相談・保健指導及び健康診査その他地域保健に関する事業を行うことを目的とした施設	1	保健センター	●		B群

② 現状の課題

- ・ 利用時間帯の延長や駐車スペースの確保等、市民ニーズに対応した改善が必要となります。
- ・ 子育て支援ルームは施設の老朽化により設備の不具合が生じており、他施設への集約化、複合化について検討する必要があります。
- ・ 保育所については、一部を除いて老朽化が進行しており、小規模な修繕ではなく耐震化や改修が求められています。また、幼稚園との再編による認定こども園の施設整備を検討する必要があります。
- ・ 総合福祉センターについては、老朽化が進行し、大規模な改修が必要となります。また、稼働率の低い諸室がみられるため、他施設の稼働率やスペースを勘案して諸室の集約や機能統合を検討する必要があります。
- ・ 長寿園については、老朽化が進行しているため、大規模な改修や他施設への集約化が求められており、高齢者のつどいの場という本来の目的に加え、地域住民のつどいの場として活用を検討する必要があります。また、地域住民に親しまれ、より人々がつどいやすく使いやすい施設にするため、管理を地域住民に移管する仕組みを検討する必要があります。
- ・ 保健センターについては部分的に老朽化が進行しており、今後、適切な維持管理が必要です。

(2) 今後の方針

取組の方向

【児童福祉施設（全市施設）】

- 同種事業を他施設において実施しているため、他施設にスペースが確保できる場合（民間施設等も含む）は、複合化・多機能化を検討します。

【児童福祉施設（地域施設）】

- 保育所、幼稚園の一体化による認定こども園の推進に合わせて、施設の整理、複合化・多機能化を検討します。

【高齢福祉施設（全市施設）】

- 稼働率やスペースを勘案し、諸室の集約や運営方法の効率化、他施設との複合化・多機能化を検討します。

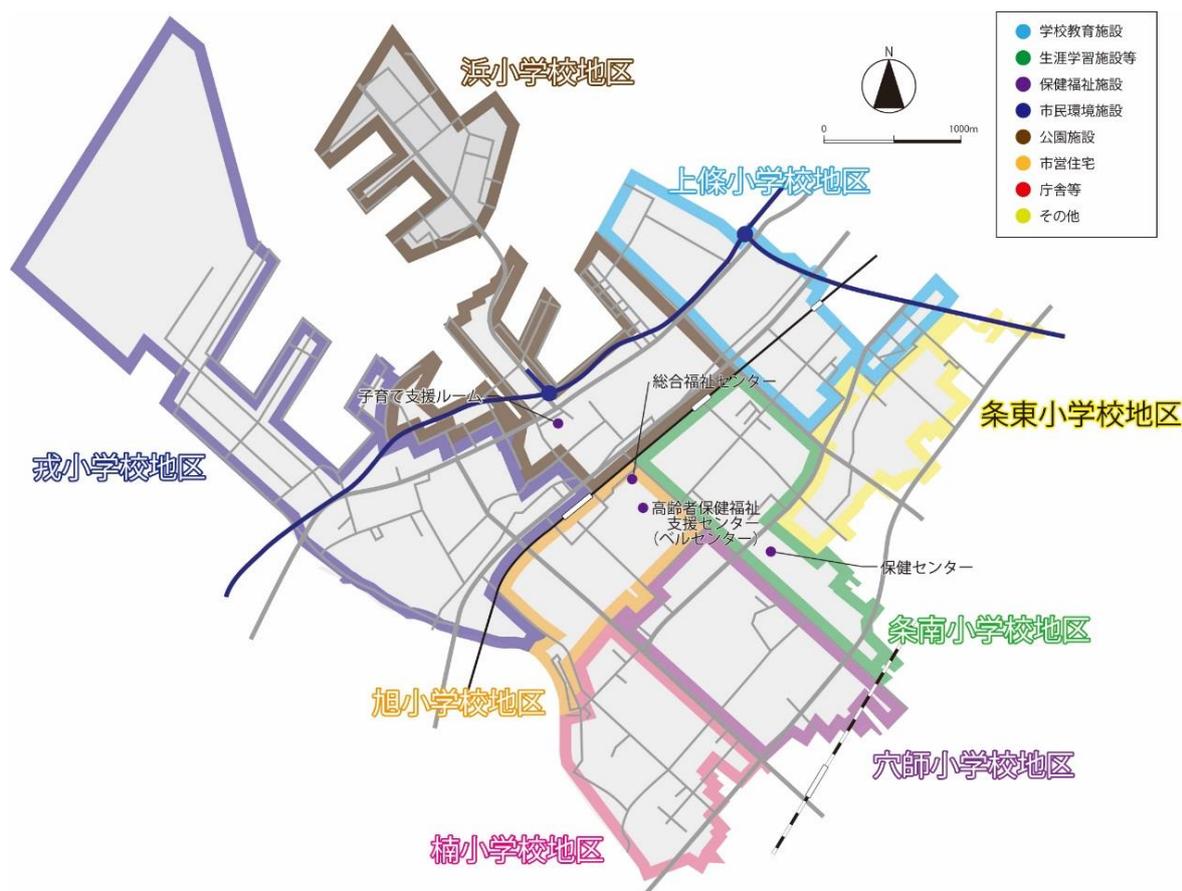
【高齢福祉施設（地域施設）】

- 地域への施設移管や他施設への複合化・多機能化を含めて、今後のコミュニティ施策と合わせて施設のあり方を検討します。

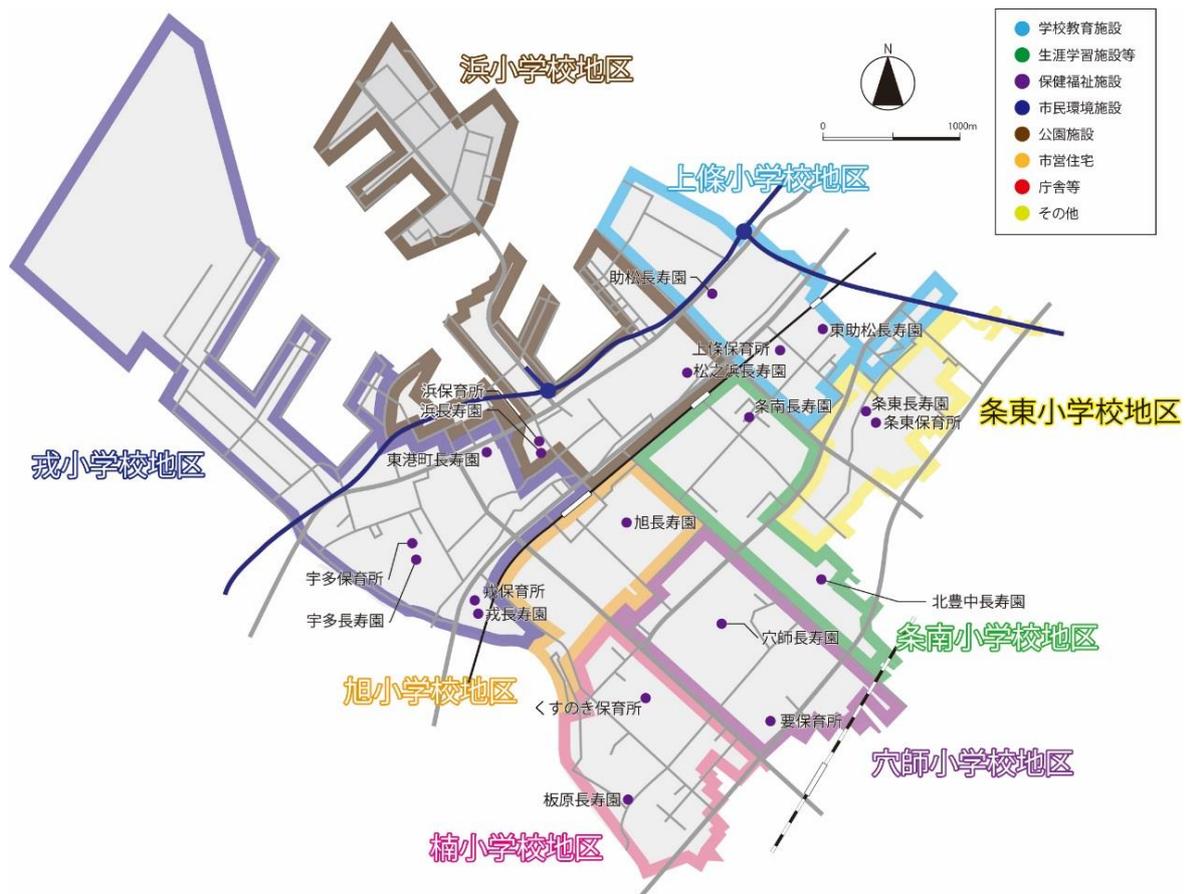
- 高齢者のつどいの場という本来の目的に加え、地域住民の多世代交流の拠点として活用を検討します。

【保健施設】

- 比較的新しい施設であることから、長寿命化を図るとともに適切な維持管理を行います。
- 建替えの際には、他施設との複合化・多機能化を検討します。



保健福祉施設（全市施設）配置図



保健福祉施設（地域施設）配置図

4-4. 市民環境施設

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	構成施設	利用圏域		検討 指針
				市域	地域	
墓地等	公園墓地内の施設	2	忠霊塔、公園墓地管理棟	●		A群
火葬場	適正な火葬業務を執行するための施設	1	市営火葬場(ゆうしお)	●		A群

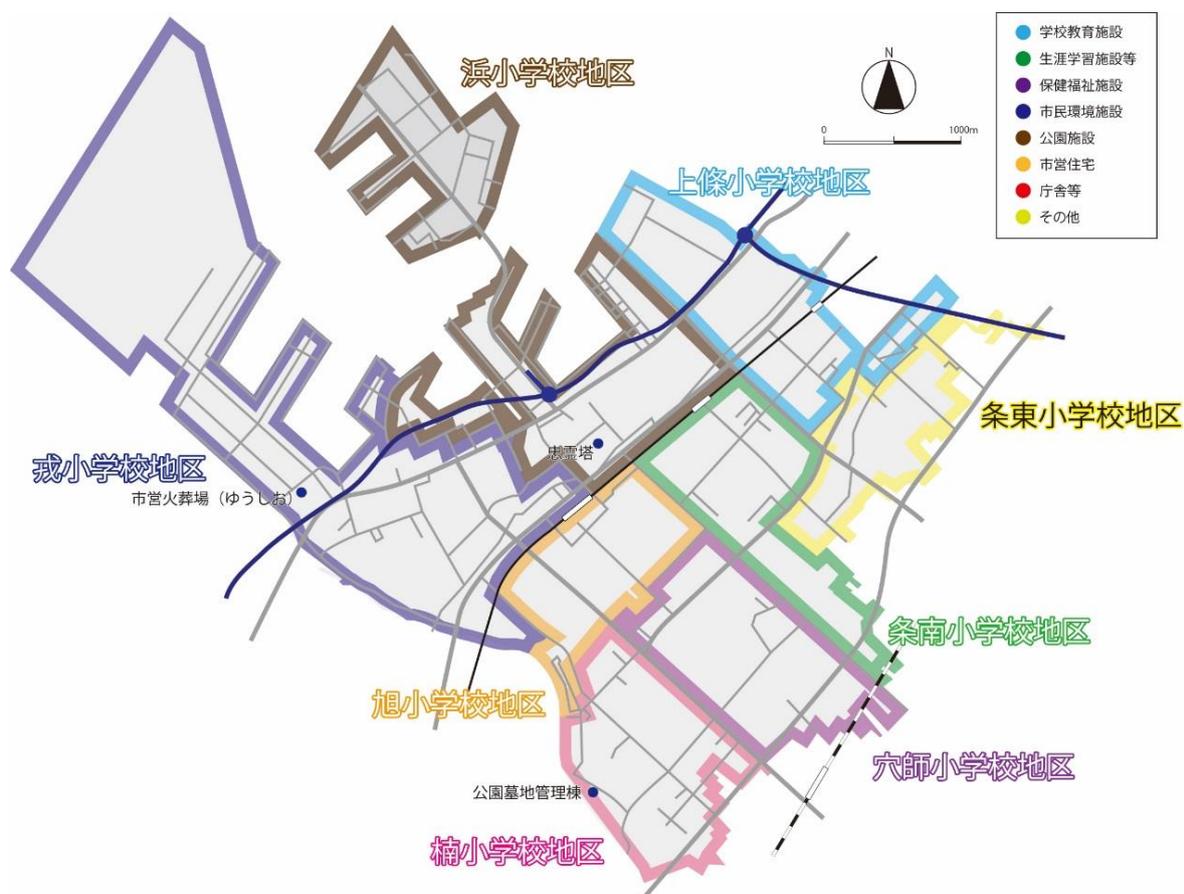
② 現状の課題

- ・ 墓地等については、施設の性格上、廃止できないため、引き続き適切な維持管理が必要です。
- ・ 市営火葬場(ゆうしお)については、比較的新しい施設であり、引き続き適切な維持管理を行う必要があります。

(2) 今後の方針

取組の方向

- 引き続き適切な維持管理を行います。



4. 用途別基本方針

4-5. 市営住宅

(1) 現状

① 施設概要

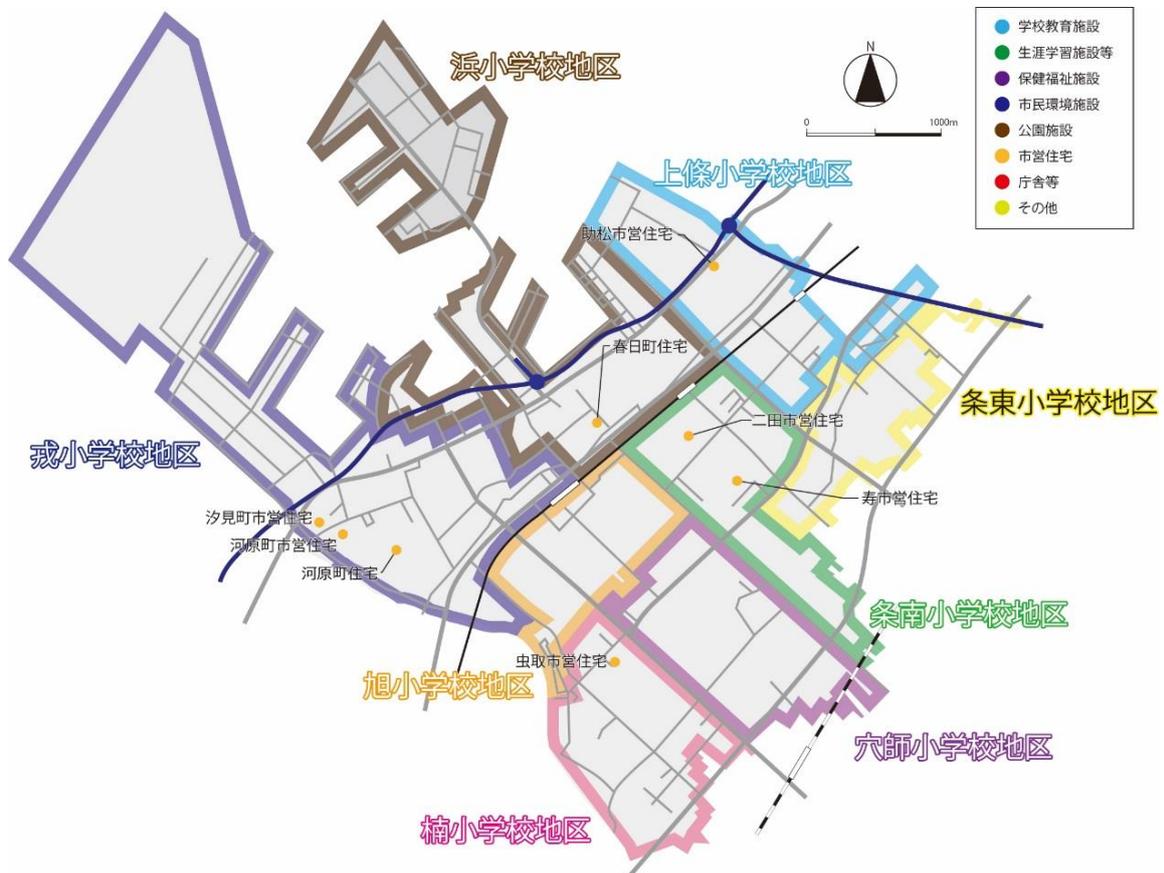
分類	位置付等	施設数	構成施設	利用圏域		検討 指針
				市域	地域	
市営住宅	住宅に困窮する低所得者 に対して低廉な家賃で住宅 を供給するための施設	8	寿市営住宅、河原町市営住宅、汐見町市 営住宅、二田市営住宅、虫取市営住宅、 助松市営住宅、春日町住宅、河原町住宅	●		B 群

② 現状の課題

- ・ 老朽化が進行し、適切な維持管理のみならず、施設の大規模改修、建替えなどが必要になります。
- ・ 入居者の高齢化に伴い設備及び施設改善が必要となります。また、浴室がない住宅があり、居住性の向上を図る必要があります。
- ・ 一部の木造住宅は耐用年限を超え老朽化が著しく、建替えの必要があります。

(2) 今後の方針

取組の方向
<p>■ 泉大津市営住宅ストック総合活用計画に基づき、長寿命化を図るとともに適切な管理及び、施設の維持管理を行います。</p> <p>● 寿・汐見町・二田市営住宅は泉大津市営住宅ストック総合活用計画により、「建替え」の判定となっており、今後、集約建替え計画の検討、及び一部用途廃止による管理戸数の適正化を図ります。</p>



市営住宅（全市施設）配置図

4-6. 庁舎等

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	主な構成施設	利用圏域		検討指針
				市域	地域	
庁舎・事務所	庁舎・事務所用の施設	4	市役所、職員会館、土木課分室・倉庫、環境課分室	●		A群
消防署・出張所	消防署・出張所用の施設	3	消防庁舎、消防出張所、化学消火薬剤備蓄倉庫(消防団車庫)	●		A群

② 現状の課題

- ・ 庁舎については、耐震改修を行ったものの老朽化が進行しており、計画的かつ効果的に工事を実施し庁舎の長寿命化を推進する必要があります。
- ・ 職員会館は施設の老朽化に伴う維持補修費の増大が懸念されるため、今後の職員会館のあり方について検討が必要です。
- ・ 消防庁舎、化学消火薬剤備蓄倉庫(消防団車庫)は施設の老朽化に加え、津波浸水想定区域にあることから施設の移転が必要となります。
- ・ 消防出張所は耐震改修を行ったものの老朽化が進行しており、消防庁舎の移転検討に合わせて施設のあり方を検討する必要があります。

(2) 今後の方針

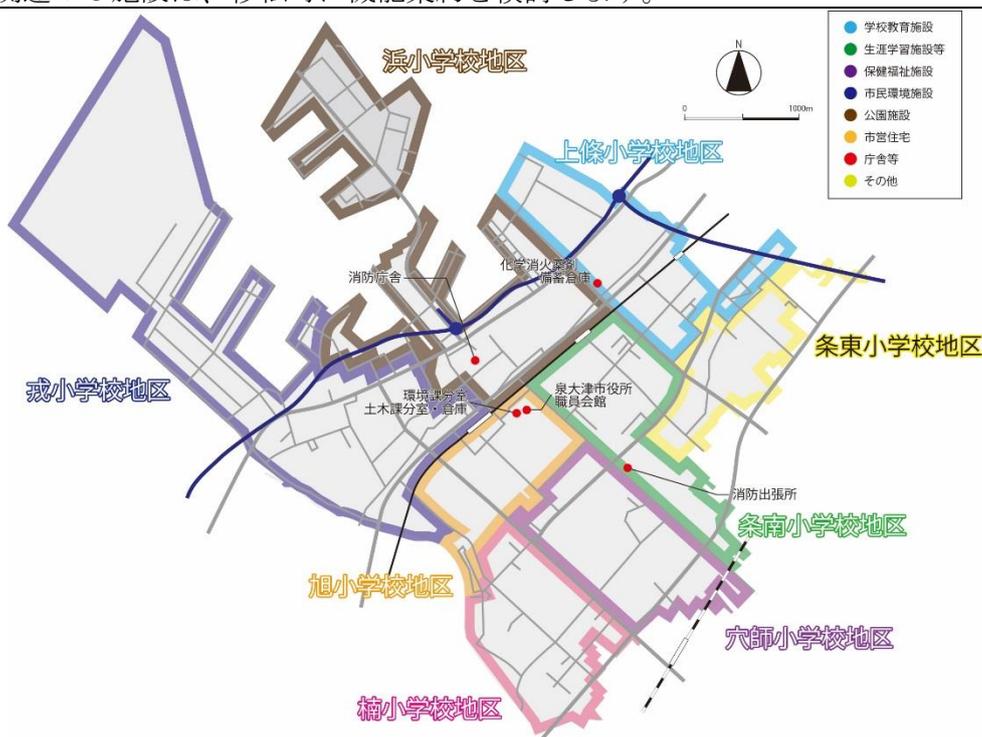
取組の方向

【庁舎・事務所】

- 庁舎については、長寿命化を検討し、建替えの際には、他施設機能の複合化・多機能化を検討します。
- 土木課分室・倉庫、環境課分室については、それぞれ所管課の執務スペースとの集約化を検討します。

【消防署・出張所】

- 消防署関連の3施設は、移転時に機能集約を検討します。



庁舎等（全市施設）配置図

4-7. 公園施設

(1) 現状

① 施設概要

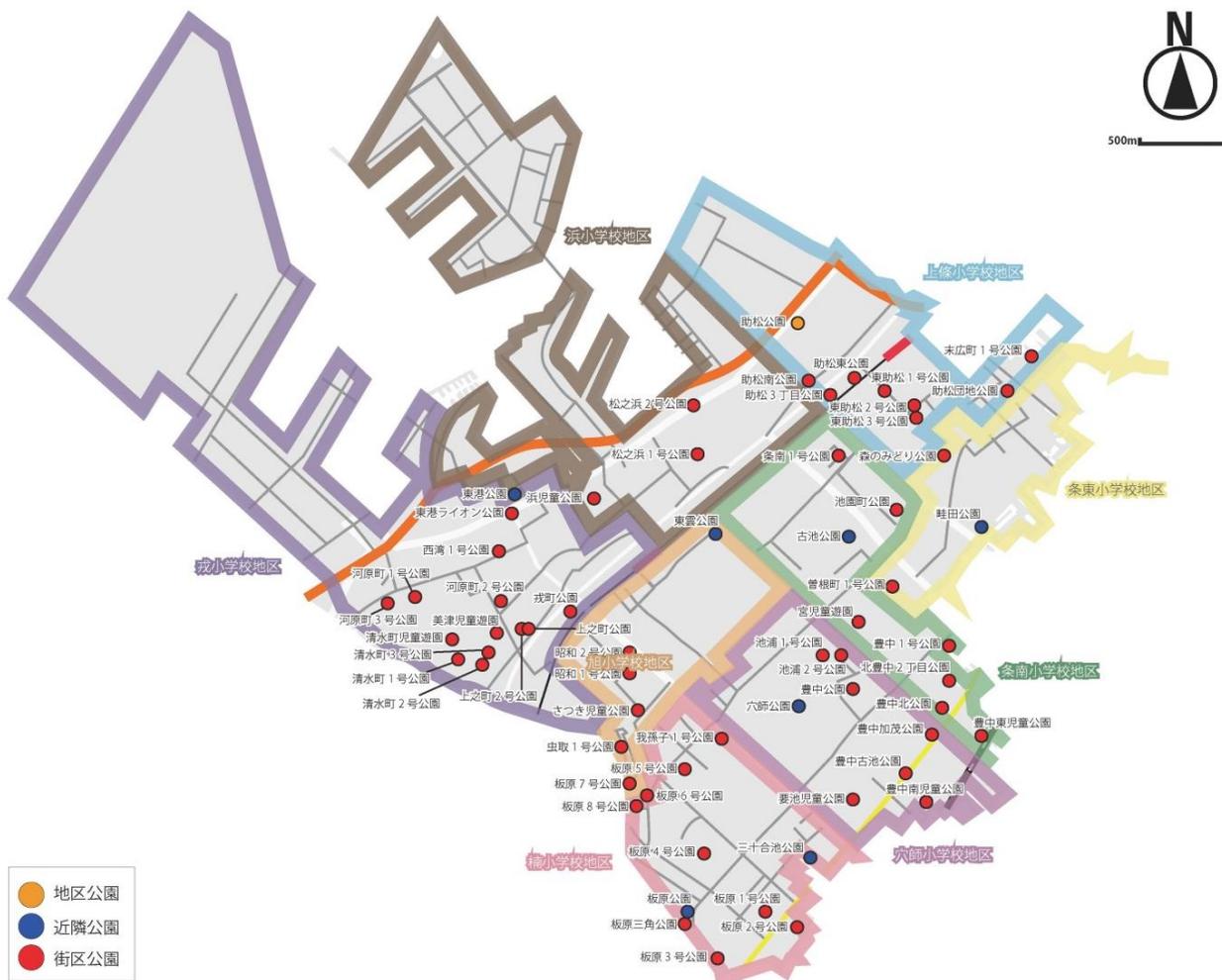
分類	位置付等	施設数	構成施設	利用圏域	
				市域	地域
都市公園	都市公園法に基づく、公共の福祉の増進のための施設	9 (施設を有する)	地区公園 近隣公園 街区公園	● (地区)	● (近隣・街区)
		53 (それ以外)			

② 現状の課題

- ・すべての公園において遊具等を含めた施設の老朽化が進んでおり計画的な更新を進めていく必要があります。
- ・穴師公園プールについては、事務所等や施設の老朽化が進んでいることから一般市民の利用には適さないと判断し、市民プールとしての利用は休止しており、助松公園プールも含めた、今後の在り方について検討が必要です。
- ・助松公園・古池公園・三十合池公園には球場が併設されており、劣化状況を踏まえた維持管理が必要です。

(2) 今後の方針

取組の方向
<p>■今後も適切かつ計画的な維持管理を行います。</p> <p>【遊具・トイレ等】</p> <p>■公園施設長寿命化計画に基づき、適切な維持管理・改修・建替えを行います。</p> <p>【グラウンド他】</p> <p>■現在のところ、フェンス等の老朽化は進んでいますが、しばらくは現状を維持します。</p> <p>【プール】</p> <p>●市民プールについては、当面、現状の施設を補修・改修により運用する。今後、市民プールと学校プールの集約化や民間施設の活用について、改修費用や維持管理費、また運用形態などの財政面、運用面等の諸条件を勘案し検討を進めます。</p>



公園施設（全市施設・地域施設）配置図

4. 用途別基本方針

4-8. その他

(1) 現状

① 施設概要

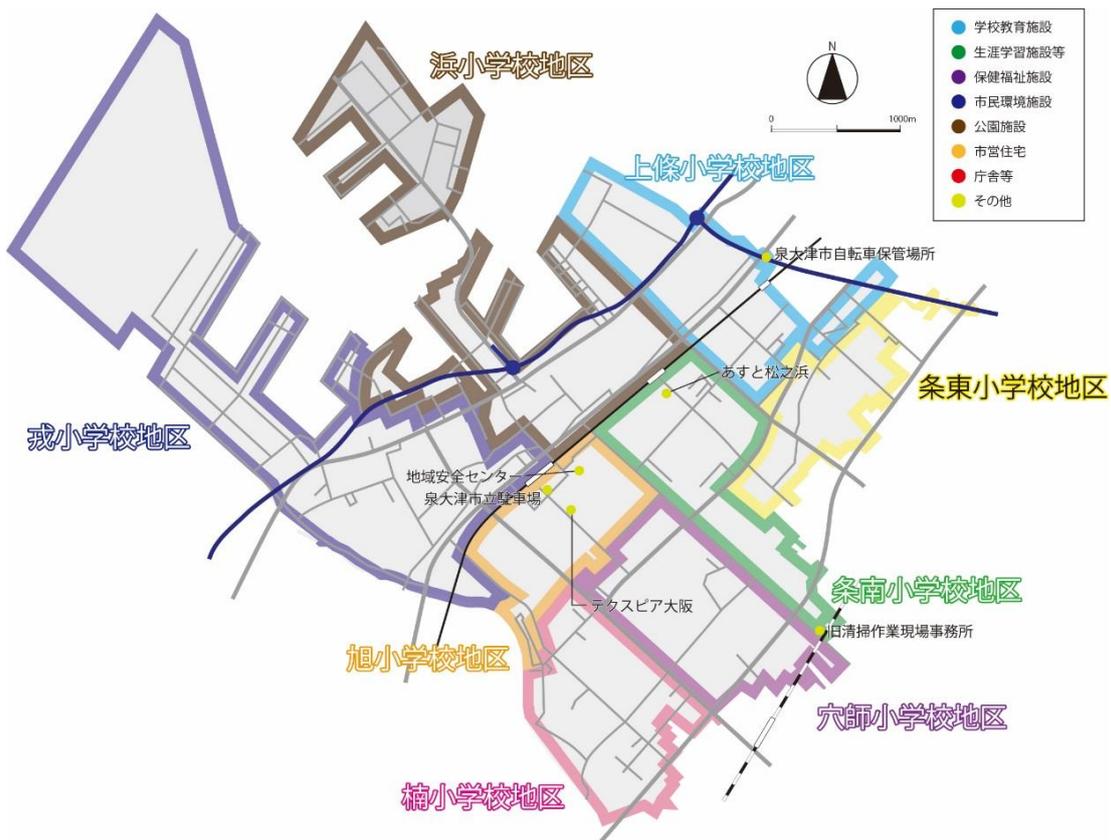
分類	位置付等	施設数	構成施設	利用圏域		検討 指針
				市域	地域	
駐車場	南海泉大津駅周辺施設の駐車場整備を目的とした施設	1	泉大津市立駐車場	●		A 群
その他	—	6	泉大津市自転車保管場所、地域安全センター、あすと松之浜(市所有床)、あすと松之浜(あすとホール(PFI 事業))、旧清掃作業現場事務所、テクスピア大阪	●		B 群
公衆 便所	公衆衛生の向上発展に資するための施設	1	中央公衆便所		●	B 群
その他	主に地域住民のコミュニティ意識の醸成、生涯学習の支援やまちづくりの推進を目的とした施設	9	東雲町自治会館、宮公民館、春日町第二自治会館、西港町自治会館、ふれあい会館、おてんのう会館、泉大津駅西地区まちづくり事務所、松之浜駅周辺地区まちづくり事務所、北助松駅周辺地区まちづくり事務所		●	B 群

② 現状の課題

- ・ 泉大津市立駐車場については、築後 20 年程度ではあるものの、設備部分の老朽化が進行しているため、適切な維持管理が必要です。
- ・ あすと松之浜の市所有床については、売却も視野に入れ、取り組む必要があります。
- ・ テクスピア大阪については、建物の長寿命化や優良なテナント等の確保の観点から、修繕計画に沿った形で年次的に修繕する必要があります。
- ・ テクスピア大阪においては、立地条件が良く利便性も高いことから、公共施設機能の集約化を検討する必要があります。

(2) 今後の方針

取組の方向
<p>【駐車場】 ●長寿命化を図るとともに、適切な維持管理を行います。</p> <p>【公衆便所】 ■引き続き適切な維持管理を行います。 ●公衆便所のあり方について、地域の実情に合わせて検討します。</p> <p>【その他（全市施設）】 ■施設の必要性を検討し、引き続き市で管理する場合は、長寿命化を図るとともに適切な維持管理を行い、代替等が可能な場合は、機能転用、廃止、売却等の検討を行います。 ●テクスピア大阪については、テナント・貸室部分を除き、生涯学習施設や市に点在する公共施設の機能集約を図る場としての活用を検討します。</p> <p>【その他（地域施設）】 ■施設の必要性を検討し、機能転用、廃止、売却、地域移管等の検討を行います。</p>



その他施設（全市施設）配置図



その他施設（地域施設）配置図

II インフラ資産等

4-9. 病院

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	構成施設	利用圏域	
				市域	地域
病院	市民の健康を守る総合病院として、新しい医療技術と設備をもって、地域の診療所などとの連携をはかりながら、病気の早期発見と治療にあたる。	1	北棟、南棟、地域周産期母子医療センター、医療総合管理棟、看護師宿舎(コーラルハウス)等	●	

② 現状の課題

- ・平成7年に看護師宿舎(コーラルハウス)、平成8年には北棟、平成10年には南棟が完成し平成10年10月に総病床数230床の総合病院としてオープンしました。また、平成21年10月には地域周産期母子医療センターがオープンしており、建築年数を踏まえた適切な維持管理が必要です。
- ・病院施設については、建築基準法等で定められたもののほか、医療法等で定められた基準に従って整備しており、法定点検等を通して把握した劣化・損傷の状況を踏まえ、緊急性や費用対効果を検討のうえ、優先順位を考慮した修繕等の実施が必要です。

(2) 今後の方針

取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> ■長寿命化に伴う施設・設備の修理・修繕・更新等を行います。 ■引き続き適切な維持管理を行います。



病院施設 配置図

4-10. 道路・橋梁

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	主な構成施設	利用圏域	
				市域	地域
道路	市民の移動及び施設へのアクセス確保のため、国道・府道等と共に道路ネットワークを形成する。	総延長約 158km	1)1級幹線市道:約 12.2 km 2)2級幹線市道:約 14.6 km 3)その他の市道:約 131.3 km	●	●
橋梁	道路ネットワークの一部として、河川・水路・鉄道・道路等と交差し、市民の円滑な移動に貢献する。	総数 60 橋	延長 15m 以上(長寿命化対象):7橋 延長 15m 未満:53 橋	●	●

② 現状の課題

- ・ 道路は、総延長約 158 km、総面積約 1,012,000 m²であり、市民の移動や施設へのアクセス確保という位置付けであるため、計画的な道路補修や日常的な維持管理が必要です。
- ・ 橋梁は、総数 60 橋、総延長 850m、総橋面積は約 8,000m²です。その内、長寿命化対象の延長 15m 以上の橋梁は7橋あり、いずれの橋梁も交通体系の維持には欠かせない重要な橋梁です。

(2) 今後の方針

取組の方向

- 泉大津市道路のバリアフリー整備計画や泉大津市橋梁長寿命化修繕計画における予防的な維持管理を実施することでコスト削減を図り、適切な修繕を行います。
- 道路整備方針や道路ストック総点検により計画的な道路舗装を行うとともに、日常的な維持管理において、パトロール車による道路面の変形等についての点検を行うことにより、適切な維持・修繕を行います。
- 水路、排水管についても、適切な維持管理、修繕、更新を行います。



橋梁 配置図

4. 用途別基本方針

4-1-1. 上水道

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	主な構成施設	利用圏域	
				市域	地域
上水道	安全・強靱で、その状態が持続する基礎インフラとして市民の生活を支える。	総延長約 253km	φ40～φ500 の管路、中央配水場等	●	●

② 現状の課題

- ・ 市民が安全な水を安定して利用できる状況は達成出来ているため、その状態を維持していく必要があります。
- ・ 管路・配水池・施設の耐震化、老朽管対策に取り組んでおり、継続的な取り組みが必要です。

(2) 今後の方針

取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> ■ 泉大津市水道事業ビジョン及び泉大津市水道事業整備計画に基づき、管路・配水池・施設の耐震化、老朽化管路・施設の更新を実施します。 ■ 今後の人口減少に伴う水需要の変化に応じた配水管口径のダウンサイジングを行い、効率的かつ経済的に更新を実施します。 ■ 今後も適切かつ計画的な維持管理を行います。

4-12. 下水道

(1) 現状

① 施設概要

分類	位置付等	施設数	主な 構成施設	利用圏域	
				市域	地域
下水道	生活を支える都市インフラとして、汚水の処理による生活環境の改善や雨水の排除等による浸水防除、公共用水域の水質保全など、安全で快適な都市環境の創設や良好な水環境を形成する。	総延長 約 233km	各種管径の管路 小松雨水ポンプ場、小津島 汚水中継ポンプ場、汐見ポ ンプ場	●	●

② 現状の課題

- ・ 汚水整備に関しては、平成 26 年度末に普及率が 96.5%となり、住居密集地区路線については、概ね完了しています。雨水整備は平成 26 年度末での雨水普及率は、35.6%です。今後は、状況を踏まえた整備が必要です。
- ・ ポンプ場施設等の耐震化、老朽化対策に取り組んでおり、今後も継続した取り組みが必要です。

(2) 今後の方針

取組の方向

- 泉大津市下水道事業「中長期計画 2014」に基づき、ポンプ場施設等の耐震化、老朽化対策に伴う更新等を実施します。
- 今後も適切かつ計画的な維持管理を行います。